



# 第14期 事業概況



## Life science and Transfer Technology

画期的な新薬・医療技術の開発で人類の健康と福祉に貢献する  
日本の生命科学技術および産業の活性化に寄与する  
常に時代の最先端を目指す

株式会社LTTバイオファーマ

平成 27年4月1日 - 平成28年3月31日

## トップメッセージ



取締役会長  
最高技術責任者・CTO

水島 徹

株主の皆様には、格別のご配慮とご支援を賜り誠にありがとうございます。

本事業年度、当社はこれまでの創薬の更なる発展を目指すと共に、新たな試みを開始しました。一つは大学や他企業との共同研究により、新たなパイプラインを増やしていくことです。二つ目は北京泰徳製薬との密接な連携による創薬です。さらに、他企業やアカデミアが持つ候補医薬品を当社がライセンスインし、一緒に開発を進める事業を開始しました。これらの試みは全て、当社の財産を活かしたものであり当社にしか出来ないものです。

既に、PC-SODの新たな適応症の発見、パイプラインの増加、東京大学との特許共同出願、北京泰徳製薬包括支援契約の延長などの成果もあがっています。

今後とも株主の皆様のご理解、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



代表取締役

大塚 秋夫

株主の皆様には、日頃よりひとかたならぬご支援を賜りまして誠に有難うございます。

創薬専業の当社にとってパイプライン充実が企業存続の大前提となります。前事業年度において有望な新薬のシーズ探索を積極的に行なった結果、多くの新薬候補をラインアップできました。今後はこれらパイプラインの開発ステージをアップさせるとともにライセンスアウトにも注力して参りたいと考えております。

当事業年度の業績につきましては、受取配当金が前期より大幅に減少したものの、引き続き高水準であったことから264百万円の当期純利益を計上することができました。

当社は早期に株主の皆様へ利益還元できるよう継続して創薬事業に邁進して参りますので、今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 株主の皆様へ

### 業績の概要

---

当社の当事業年度の売上高は北京泰徳製薬股份有限公司との包括的支援契約に基づく報酬等により70,500千円(前期比19.0%増)となりました。

販売費及び一般管理費は支払報酬の減少等により369,915千円(前期比22.3%減)となったため、営業損失は315,040千円(前期比25.4%損失減)にとどまりました。

一方、北京泰徳製薬股份有限公司の受取配当金が前期比71.7%減の630,115千円となったことから、経常利益は332,583千円(前期比81.6%減)、当期純利益は264,395千円(前期比83.3%減)とそれぞれ大幅に減少しました。

### 研究開発およびライセンス体制の強化

---

当事業年度は、ドライアイ治療薬(LT-4002)の第Ⅱ相臨床試験開始や味の素製薬へのLT-4004導出の実現をはじめとするDR研究の推進、ライセンス体制の整備、北京泰徳製薬股份有限公司との提携強化等に積極的に取り組んで参りました。

さらに、研究開発をより一層加速すべく、本年4月に当社発祥の地である聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター内への寄付研究部門設置を実現しております。

また、当社の最重要パートナーである北京泰徳製薬股份有限公司との良好な関係の維持にも注力しており、引き続きPC-SOD(LT-1001)を中心とする同社の研究開発支援などを積極的に推し進めております。



## 業績及び財務状況等

### 当事業年度の業績

(単位:百万円)

	第13期 (2015年3月期)	第14期 (2016年3月期)	前期比増減
売上高	59	70	+19.0%
研究開発費	120	※1 202	+68.4%
その他販売管理費	356	※2 167	△53.0%
営業損失(△)	△422	△315	△25.4%
営業外損益	2,230	※3 647	△70.9%
経常利益	1,808	332	△81.6%
当期純利益	1,583	264	△83.3%

※1 ドライアイ治療薬(LT-4002)の臨床試験費用等により増加

※2 支払報酬の減少等により減少。

※3 北京泰徳製薬の受取配当金が大幅に減少。

### 2017年3月期業績見通し

北京泰徳製薬との包括的支援契約に基づく報酬等により50百万円前後の売上高になる見込みですが、PC-SODの研究開発、ドライアイ治療薬(LT-4002)の第Ⅱ相臨床試験費用等の研究開発費増加により販売費及び一般管理費が高水準で推移するため、470百万円程度の営業損失が発生すると見込んでおります。営業外収益として北京泰徳製薬の配当金が引き続き見込まれますが、営業損失が回避できるか否かは同社の業績及び配当政策に拠るところが大了。

## 業績及び財務状況等

(単位:百万円)

	第13期 (2015年3月末現在)	第14期 (2016年3月末現在)
流動資産	3,217	2,845
現金及び預金	736	※1 1,704
有価証券	200	※2 501
未収入金	2,231	※3 602
固定資産	70	62
有形固定資産	2	0
投資その他の資産	68	62
資産合計	3,288	2,908
負債合計	538	160
未払金	293	83
未払法人税	225	61
純資産合計	2,750	2,747
株主資本	2,740	2,741

※1 第13期末において未収入金計上されていた北京泰徳製薬からの配当金の入金により大幅に増加。

※2 有価証券の取得による増加(低リスクの資産運用)

※3 北京泰徳製薬からの配当金を未収計上。

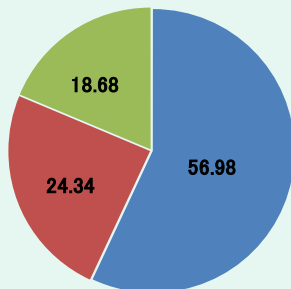
## 株式情報

### 大株主の状況

(2016年3月末現在)

株主名	持株数	持株比率
北京泰徳製薬股份有限公司	25,320	19.20%
一般財団法人水島記念財団	23,375	17.72%
外国法人	6,500	4.92%
個人	4,044	3.06%
個人	3,515	2.66%
個人	2,651	2.01%
個人	2,534	1.92%
個人	2,354	1.78%
個人	2,200	1.66%
個人	1,670	1.26%

### 投資家別保有株式分布状況



発行済株式の総数 131,868名  
株主数 4,658名

- 個人・その他
- 外国法人等
- その他の法人

## 会社情報

名称	株式会社LTTバイオフーマ
所在地	〒105-0022 東京都港区海岸一丁目2番20号 汐留ビルディング3階 TEL:03-5733-73911 FAX:03-5733-7397
設立	2003年(平成15年)1月設立 前身のエルティーター研究所の設立は、1988年(昭和63年)4月
資本金	1億円
役員	取締役会長 水島 徹 (最高技術責任者・CTO) 代表取締役社長 大塚 秋夫 取締役 関根 準三 取締役 大谷 培夫 取締役 謝 炳 取締役 鄭 翔玲 取締役 趙 焰平 監査役 熊谷 鈴司

## パートナーシップ

資本・業務提携	北京泰德制药有限公司
研究委託先	聖マリアンナ医科大学 日本大学 就実大学 武蔵野大学



北京泰德製薬本社(中国北京市)



## 株式関連情報

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〈お問合せ〉 <b>0120-232-711</b> 〈各種手続用紙のご請求〉 東京 <b>0120-244-479</b> 大阪 <b>0120-684-479</b> 〈お手続き〉 三菱UFJ信託銀行 本店・各支店
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.ltt.co.jp">http://www.ltt.co.jp</a> ※ただし、電子公告によることができない 事故、その他やむを得ない事由が生じた ときは、日本経済新聞に公告いたします。